

元生産第 471 号
令和元年 7 月 5 日

(一社) 日本花き生産協会会長 殿

農林水産省生産局園芸作物課長

ツマジロクサヨトウの防除について

このことについて、別添のとおり各都道府県に通知しましたのでお知らせします。つきましては、本虫に対して迅速かつ的確な防除を実施するため、貴会におかれましては、内容をご了知の上、会員を通じて生産者に対し、周知徹底をお願いします。

写

元消安第 1232 号
令和元年 7 月 5 日

北海道農政部長
各地方農政局消費・安全部長
内閣府沖縄総合事務局農林水産部長 殿

農林水産省
消費・安全局植物防疫課長

ツマジロクサヨトウの防除について

本年 7 月、鹿児島県で発生が確認されたツマジロクサヨトウについて、その被害を軽減するためには、早期防除を徹底することが重要ですが、現在、本虫に登録のある農薬はありません。

一方で、農薬取締法第 25 条第 1 項の農林水産省令・環境省令で定める農薬を定める省令においては、植物防疫法第 29 条第 1 項の規定による防除を行うために使用する農薬については、農薬使用基準の対象とならないこととされています。このため、植物防疫法第 29 条第 1 項の規定に基づき、都道府県の行う防疫として本虫を防除する場合には、ハスモンヨトウやメイチュウ類等に適用のある農薬を使用して防除を行うことが可能です。

また、上記の防除を行う場合にあっては、適用農作物、希釈倍数・使用量、使用時期、総使用回数等を遵守すれば、残留農薬基準を超過することはないことから、農産物の流通に支障を生じることはありません。

つきましては、早期防除を的確に実施できるよう、農薬の薬効に関する国内の知見、海外の情報等に基に、効果が高いと考えられる農薬をリストアップしましたので、本虫の疑いがある虫が発生した場合には、別紙の農薬リストを参考に速やかに防除を実施していただくとともに、最寄りの植物防疫所にご連絡いただくよう、貴局管内都道府県^{※1}に周知願います。

(施行注意)

※1 北海道に対しては貴道管内、東北農政局、北陸農政局、東海農政局、中国四国農政局、九州農政局に対しては貴局管内県、関東農政局に対しては貴局管内都県、近畿農政局に対しては貴局管内府県とする。

○飼料用とうもろこし

農薬名	希釈倍率	使用方法	使用時期	散布量	回数
カルタップ水溶剤	1000 倍	散布	収穫 21 日前まで	100～300L/10a	2回以内
アセタミプリド水溶剤	6000 倍	散布	収穫 90 日前まで	100～300L/10a	3回以内
MEP 乳剤	2000 倍	散布	収穫 30 日前まで	100～300L/10a	2回以内

○未成熟とうもろこし

農薬名	希釈倍率	使用方法	使用時期	散布量	回数
エマメクチン安息香酸塩乳剤	1000 ～ 2000 倍	散布	収穫 3 日前まで	100～300L/10a	2回以内
BT 水和剤	2000 倍	散布	発生初期(但し、収穫前日まで)	100～300L/10a	
フルベンジアミド水和剤	2000 ～ 4000 倍	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2回以内
シペルメトリン乳剤	1000 倍	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	3回以内

○とうもろこし(子実)

農薬名	希釈倍率	使用方法	使用時期	散布量	回数
エマメクチン安息香酸塩乳剤	1000 ～ 2000 倍	散布	収穫 30 日前まで	100～300L/10a	2回以内
BT 水和剤	2000 倍	散布	発生初期(但し、収穫前日まで)	100～300L/10a	
フルベンジアミド水和剤	2000 ～ 4000 倍	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2回以内
シペルメトリン乳剤	1000 倍	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	3回以内

○サトウキビ

農薬名	希釈倍率	使用方法	使用時期	散布量	回数
クロラントラニプリロール・ジノテフラン水和剤	2000 倍	散布	収穫 45 日前まで	100～300L/10a	3回以内
クロラントラニプリロール水和剤	5000 倍	散布	収穫 30 日前まで	100～300L/10a	3回以内
フィプロニル粒剤		植溝処理土 壤混和	植付時	4～6kg/10a	1回
		株元処理土 壤混和	培土時	6kg/10a	1回

○水稲

農薬名	希釈倍率	使用方法	使用時期	散布量	回数
スピネトラム水和剤 (飼料用米に使用する場合を除く)	4000 ~ 6000 倍	散布	収穫 7 日前まで	60~150L/10a	3回以内 (播種時又は 移植時1回、本 田2回以内)
BT 水和剤	2000 ~ 4000 倍	散布	発生初期(但し、収 穫前日まで)	60~150L/10a	
エトフェンプロックス粉剤		散布	収穫7日前まで	3~4kg/10a	3回以内
エトフェンプロックス乳剤	1000 倍	散布	収穫 14 日前まで	60~150L/10a	3回以内

稲(箱育苗)

農薬名	希釈倍率・量・使用方法	使用時期	回数
クロラントラニリプロール粒剤	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱 あたり 50g・育苗箱の苗の上から均一に散布 する。	は種時覆土前～ 移植当日	1回
フィプロニル粒剤	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱 あたり 50g・育苗箱の苗の上から均一に散布 する。	は種時覆土前～ 移植当日	1回
スピノサド粒剤	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱 あたり 50g・育苗箱の苗の上から均一に散布 する。	移植2日前～移植 当日	1回

○さつまいも

農薬名	希釈倍率	使用方法	使用時期	散布量	回数
スピネトラム水和剤	2500 ~ 5000 倍	散布	収穫前日まで	100~300L/10a	2回以内
インドキサカルブ水和剤	2000 倍	散布	収穫7日前まで	100~300L/10a	2回以内
エトフェンプロックス乳剤	1000 倍	散布	収穫7日前まで	100~300L/10a	3回以内
フルベンジアミド水和剤	2000 ~ 6000 倍	散布	収穫前日まで	100~300L/10a	3回以内